



賃料不払を解除理由とする場合には、この□をレ点でチェックし、被告(相手方)がいつから家賃を支払っていないか、その初めの日と1か月の家賃の額を書いてください。

賃料不払以外を解除理由とする場合に、明渡しを受けるまでの賃料相当の損害金の支払を求めるときには、いつからの損害金の支払を求めると、1か月の家賃の額を書いてください。

被告(相手方)と初めて結んだ契約の内容を書いてください。

なお、その後、家賃が改定されたときは、最も新しい家賃の額とその額に改定された日を( )内を書いてください。

契約の解除などについて特別に約束したことがあれば書いてください。

賃料不払を解除理由とする場合に、あなたが被告(相手方)に対し、未払賃料の支払の催告をしたことがあれば「あり」の□をレ点でチェックし、催告の日を書いてください。

なお、直接口頭で催告したときはその日を、書面で催告したときはその書面が相手方に到達した日を書いてください。

被告(相手方)の言い分や、この紛争について他に参考になることなどを書いてください。

「請求の趣旨」とは、あなたが求める裁判の事です。

建物明渡

請求の趣旨	1 被告は、原告に対して、別紙物件目録記載の建物を明け渡せ。 <input checked="" type="checkbox"/> 被告は、原告に対して、 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和 ○年 8月 /日 から明渡し済みまで 1か月金 60,000 円の割合による金員を支払え。
	2 訴訟費用は、被告の負担とする。 との判決を求めます。
紛争の要点 (請求の原因)	1 賃貸借契約の内容 原告は、被告に対し、別紙物件目録記載の建物を次のとおり賃貸し、これを引き渡した。 (1) 契約日 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和 ○年 4月 /日 (2) 賃貸期間 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 定めなし (3) 賃料 1か月金 60,000 円 (□平成 □令和 年 月 日から1か月金 円) (4) 特約 3ヶ月分以上賃料の支払いを怠ったときは、何らの催告を要せず、契約を解除することができる。
	2 催告 <input checked="" type="checkbox"/> あり ( <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和 ○年 11月 30日) 3 契約の解除 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和 ○年 12月 14日 <input type="checkbox"/> 本訴状をもって契約を解除する。
添付書類	4 契約解除の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 賃料不払( <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和 ○年 8月分から 3か月分) <input type="checkbox"/> 無断譲渡・転貸 <input type="checkbox"/> 無断増改築 <input type="checkbox"/> その他
	その他の参考事項 被告は、これまでも家賃の支払が遅れがちであり誠意がない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 固定資産課税台帳登録事項証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 登記事項証明書(登記簿謄本) <input type="checkbox"/> 契約書 <input type="checkbox"/> 内容証明郵便 <input type="checkbox"/> 配達証明書 <input type="checkbox"/>

「訴訟費用」とは、申立手数料や裁判所を通じて被告(相手方)などに送った書類の郵便料金や証人に支払う旅費・日当などのことです(弁護士等の費用は含まれません)。

契約解除について、被告(相手方)にその意思を伝えたことがあれば、上の□をレ点でチェックし、直接口頭で伝えたときはその日を、書面で伝えたときはその書面が相手方に到達した日を書いてください。

本訴状を被告(相手方)に送ることによって解除する旨を伝えるときは下の□をレ点でチェックしてください。

契約を解除する理由について該当する□をレ点でチェックし、「賃料不払」を理由とする場合は、( )内に契約解除の時点での不払期間を、「その他」を理由とする場合には具体的な理由を書いてください。

明渡しを求める建物の固定資産課税台帳登録事項証明書(通常「評価証明」といいます)は、申立手数料を算出するために必要ですから、建物の所在地の市町村役場で交付を受け、この□をレ点でチェックして、訴状と一緒に提出してください。

明渡しを求める建物の登記事項証明書(登記簿謄本)は、訴状に添付する必要がありますので、この□をレ点でチェックして、訴状と一緒に提出してください。  
なお、建物が未登記であれば、提出する必要はありません。

ここに例示されているような証拠書類があれば該当する□をレ点でチェックし、その他の証拠書類があれば空欄の□をレ点でチェックして空欄にその書類の名称を記載し、その書類の写し(コピー)を2通作成して、訴状と一緒に提出してください。

物 件 目 録

建物の表示

所 在 ○○県○○市○○町○丁目○番○地

家屋番号 ○○ 番

種 類 居 宅

構 造 木 造 瓦 葺 2階 建

床面積 1 階 84.7 m<sup>2</sup>

2 階 57.4 m<sup>2</sup>

上記の建物のうち 1 階 5 号室

床面積 約 17.1 m<sup>2</sup>

一棟の建物の表示

所 在

建物の名称

構 造 造 建

床面積 階 m<sup>2</sup>

階 m<sup>2</sup>

専有部分の建物の表示

家屋番号

建物の名称

種 類

構 造 造 建

床面積 階部分 m<sup>2</sup>

物件目録は建物登記事項  
証明書（登記簿謄本）を見て  
書いてください。

建物が区分所有建物では  
ない場合（例えば、普通のアパ  
ートや賃貸マンション、一戸  
建て）には、この□をチェッ  
クして必要な事項を書いてく  
ださい。

建物が区分所有建物の場合  
（例えば、分譲マンション）に  
は、この□をチェックして一  
棟の建物の表示について、必要  
な事項を書いてください。なお、  
一棟の建物について、建物の  
名称が定められている場合に  
は「建物の名称」の□をチェ  
ックし、定められていない場  
合には「構造、床面積」の□  
をチェックし、それぞれ必要  
な事項を書いてください。